

経営学部 情報公共論 前期・月曜日 4 限 LT1113 教室

●授業の概要・到達目標

<授業の概要>

現代の高度に情報化された社会を支えるソフトとしては、企業ベースで開発される商業ソフトとともに、NPO や個人によって開発されるフリーウェアが重要な役割を果たしています。またインターネットの基幹的部分の管理・運営も NPO によってなされています。本講義ではそのように 21 世紀社会を支える新しい公共財として最近大きく成長しつつあるソフトや情報インフラの問題を取り扱います。

<到達目標>

情報公共財の社会的な意味や機能について学び、自分の頭で考察できるようになることを目的とする。

●授業内容

産業の高度成熟化および社会全体の高度情報化を迎えた 21 世紀社会におけるビジネス・インフラの担い手として、最近では情報 NPO やまちづくり NPO などの新しいタイプの NPO が注目されています。

例えば、情報産業のビジネス・インフラを構成する OS として最近話題になっている Linux は、サーバー用 OS としてマイクロソフト社の Windows をしのぐ高い評価を受け、インテル社などの支援もあり現在急速にそのシェアを伸ばしていますが、これは NPO 組織によって開発され、維持・管理されているソフトです。またアメリカの情報産業の中心地である米シリコンバレーが 90 年代に急成長を遂げた要因の一つには、「ジョイントベンチャー・シリコンバレー・ネットワーク」(JVSVN) という NPO が教育・医療・行政サービス・ビジネスなど幅広い分野の情報化を「民間主導」かつ「非営利」の立場で市や郡といった行政区画の境界を越えて一挙に実現したことがあると言われてしています。

このように本講義では、NPO によって構築＝管理されている新しい公共財としてのソフトや情報インフラに関する公共経営学的考察、および、情報セクターにおける公共性の思想や文化などの諸問題を取り扱います。

●履修上の注意・準備学習の内容

<履修上の注意>

本授業に関連する基礎的知識を有すること。

<準備学習の内容>

前回の講義内容の復習とともに次回の授業範囲の予習し、授業内容の理解に必要なキーワードに関しては、自分でインターネットや図書館などを利用して十分に調べておくこと。

●教科書

教科書の指定はありません。

●参考書

参考書に関しては授業中に紹介します。

●成績評価の方法

学期末試験：100%

●その他

授業に必要な資料はプリントして授業中に配布します。また、<http://www.sanosemi.com/infopub> で授業関連情報が入手できるようになっています。